

石垣港港湾脱炭素化推進計画

概要版

令和8年10月

石垣市（石垣港港湾管理者）

1. 本計画の目的

・本計画は、港湾法第50条の2第1項の規定に基づく港湾脱炭素化推進計画として、石垣港を利用する企業を含む港湾地域全体を対象に、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や港湾に立地する産業との連携について具体的な取組やロードマップを定め、港湾の脱炭素化を図ることを目的として作成するものである。

2. 港湾の特徴

（１）石垣港の特徴

- ・石垣港は、沖縄本島から南西に約410km離れた八重山群島の中心である石垣島に位置する日本最南端の重要港湾である。
- ・八重山諸島、沖縄本島、日本本土、台湾諸外国間の人流、物流交流拠点として発展してきた。最近では外航クルーズ客船の定期寄港も実現した。
- ・東アジアの交流拠点としての賑わい空間の形成、船舶大型化や貨物量増大に対する物流機能の再編等、社会情勢の変化に対応するため、令和6年6月に港湾計画が改訂された。

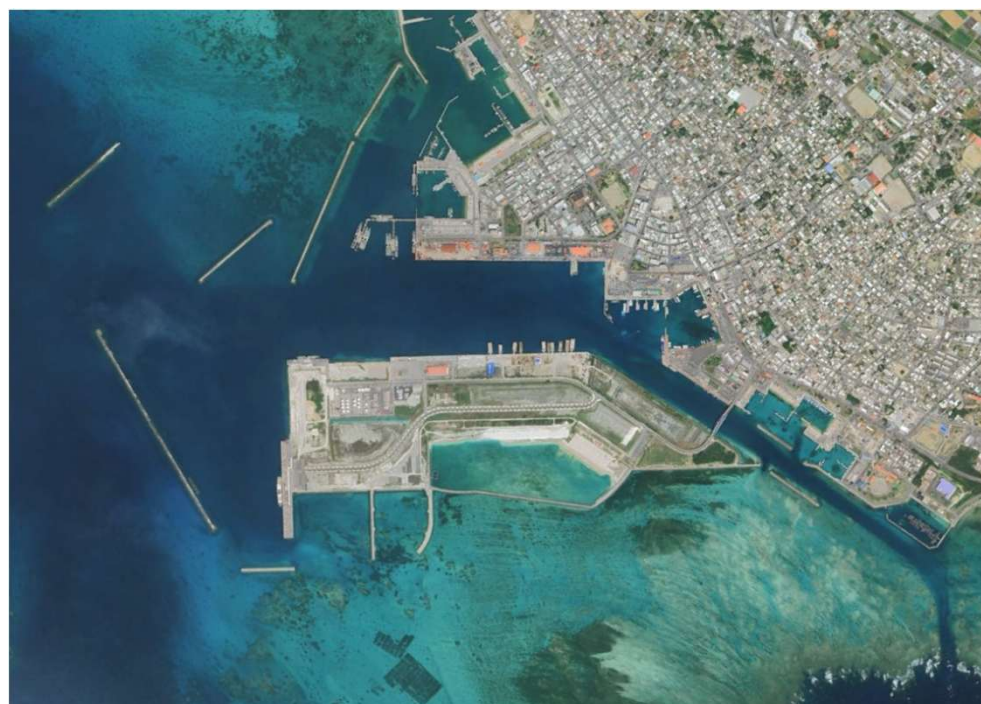


図 石垣港 航空写真

（２）本計画の取組の対象範囲

- ・港湾区域及び臨港地区に加えて、石垣港を経由して行われる海上輸送・トラック輸送・倉庫等の物流活動や、港湾を利用して生産・発電等を行う事業者の活動、各地区の緑地及びブルーカーボン生態系等を活用した吸収源対策の取組等を対象とする。

3. 本計画の基本的な方針

- 本計画の基本的な取組方針は以下に示すとおりである。



4. 本計画の目標（KPI目標）

（１）港湾脱炭素化推進計画の目標

- 本計画の目標は、以下のとおり、取組分野別に指標となるKPI（Key Performance Indicator：重要達成度指標）を設定し、短期・中期・長期別に具体的な数値目標を下表のとおり設定した。

＜目標設定の考え方＞

- 短期(2030年度)：「石垣港CNP形成計画（令和5年2月）」より設定
- 中期(2040年度)：短期(2030年度)目標より長期(2050年度)目標との中間値に設定
- 長期(2050年度)：カーボンニュートラルの実現の想定で実質0トン/年に設定

表 計画の目標
(KPI1：CO2排出量)

目標時期	KPI1：CO2排出量
短期 (2030年度)	2,101トン/年 2013年度比34%減 2024年度比41%減
中期 (2040年度)	1,051トン/年 2013年度比67%減 2024年度比70%減
長期 (2050年度)	実質0トン/年 2013年度比100%減 2024年度比100%減

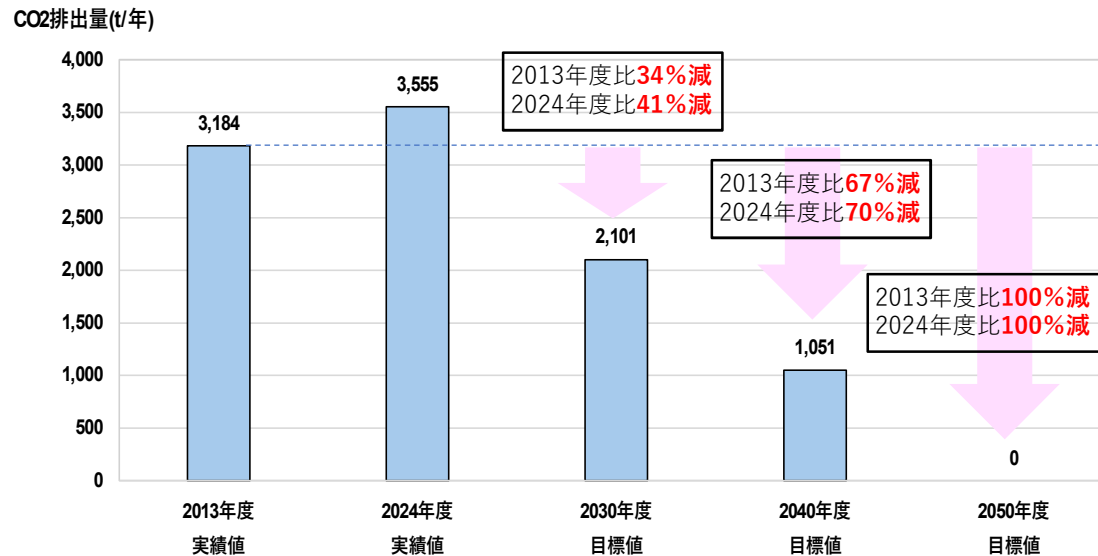


図 CO2排出量の削減目標

4. 本計画の目標（排出量・吸収量の推計）

（２）温室効果ガスの排出量・吸収量の推計

- 対象範囲においてエネルギー（燃料、電力）を消費している事業者のエネルギー使用量をもとに、基準年次（2013年度）及び計画作成時点で得られる最新年次（2024年度）におけるCO2排出量・吸収量を推計した。

区分	対象地区	対象施設等	所有・管理者	CO2排出量・吸収量(年間)	
				2013年度	2024年度
ターミナル 内	浜崎町地区	荷役機械	港湾運送事業者	283.5t	296.9t
		管理棟・照明施設・上屋・ リーファー電源・その他施設等	石垣市(港湾管理者) 港湾運送事業者	294.5t	264.4t
	美崎町地区・登野城地区	荷役機械	港湾運送事業者	39.3t	34.1t
		管理棟・照明施設・上屋・ リーファー電源・その他施設等	石垣市(港湾管理者) 港湾運送事業者	737.6t	649.8t
	新港地区	管理棟・照明施設・上屋・ リーファー電源・その他施設等	石垣市(港湾管理者)	70.1t	63.0t
	合計			1,425.1t	1,308.2t
ターミナル 出入 (車両・船舶)	浜崎町地区	車両	港湾運送事業者 石垣市(港湾管理者)	409.4t	435.1t
		停泊中の船舶	船社	322.6t	329.8t
	美崎町地区・登野城地区	車両	石垣市(港湾管理者)、船社	293.0t	206.8t
		停泊中の船舶	船社	32.4t	35.5t
	新港地区	停泊中の船舶	船社	220.0t	474.5t
	合計			1,277.4t	1,481.6t
ターミナル 外	浜崎町地区	事務所・車両・荷役機械	民間事業者 港湾運送事業者	269.8t	385.9t
	新港地区	事務所・車両・荷役機械	民間事業者	211.8t	379.3t
	合計			481.6t	765.2t
合計				3,184.1t	3,555.0t

5. 港湾脱炭素化促進事業及び将来構想



6. ロードマップ

(1) 温室効果ガス排出量の削減		主な実施主体	2013年度 (基準年)	～ 2024年度 (基準年)	～ 2030年度 (短期目標)	～ 2040年度 (中期目標)	～ 2050年度 (長期目標)
ターミナル 内	荷役機械 (フォークリフト等)	港湾運送事業者、船社	アドブルー対応車両・ 荷役機械の導入		アドブルー対応車両・ 荷役機械の導入	荷役機械の電動化・ハイブリッド化・ FC化	
	照明施設・上屋等	石垣市、港湾運送事業者	照明のLED化		照明のLED化		
ターミナル 出入	出入車両	港湾運送事業者、 石垣市、船社			アドブルー対応車両・荷役機械の導入	次世代自動車の導入 (HV・FCVなど) トラクターヘッドの電化・FC化	
ターミナル 外	荷役機械 (フォークリフト等)	民間事業者、 港湾運送事業者	保温材の使用によるポンプでの輸送効率化				
			アドブルー対応荷役機械の導入				
						次世代自動車の導入 (HV・FCVなど)	
	倉庫・事務所等	民間事業者、 港湾運送事業者	照明のLED化		照明のLED化	CO2フリー電力の供給	
			事務所内設備等の省エネ化		事務所内設備等の省エネ化		
					太陽光発電設備の導入		
吸収源	モズク養殖場	漁業協同組合	モズクの養殖によるCO2吸収・貯留				
(2) 港湾・臨海部の脱炭素化							
燃料供給PJ		民間事業者			給油施設 (パイプライン) による船舶への燃料供給		
					カーボンオフセット燃料の供給		
陸上電力供給PJ		船社			石垣港内での陸上電力供給		
船舶航行省エネ化・効率化PJ		民間事業者 船社	船舶の運航省エネ化・効率化		船舶の運航省エネ化・効率化		
			船舶照明のLED化				
					新造船での蓄電池の導入		

実施中の取組
(実施済含む)

促進事業

将来構想